

あなたの願い託せる人を



選挙は議員の「通信簿」

点数をつけるのは、市民の皆さんです。

これからの4年間の鈴鹿市政を左右する大事な
選択の機会が選挙です。それだけに「地元の人だ
から」とか「頼まれたから」だけで選ぶのではな
く、「4年間、何をしてきたのか」、「これから
何をしてくれるのか」も、市民の代表を選ぶ基準
にすべきではないでしょうか。

チェックポイント1

議会ですっきり 発言できる人か

市民が議会に意見や要望を出す権利を請願権
といいますが、この大事な請願を十分に審議す
ることもなく「不採択」にされてはたまりませ
ん。鈴鹿市議会では、「30人学級を求める」請
願や「中学校給食の早期実現を求める」請願が
出され、2人の共産党議員はこの請願が採択さ
れるよう奮闘しましたが、多くの議員の反対で
否決（不採択）されました。

市長提出議案には何でも賛成するが、市民の
願いはなかなか通さない議会を変えるために、
市民の声を届け、しっかり発言できる人を選び
ましょう。

チェックポイント2

良いことに賛成、悪いこ とには反対できる人か

鈴鹿市議会では、この4年間で市長提案の議
案が328件出されましたが、ほとんどの議員
がすべての議案に賛成したというのが実態です。

共産党議員団は、全議案の12%に反対しまし
たが、9割ほどの議案には賛成しました。そし
て毎議会、本会議で討論に立ち議案の問題点な
どを指摘し、改善を求めてきました。

良いことも悪いことも「何でも賛成」の議員
では、チェック機能は果たせません。

「選挙活動自粛」では

政策や考えがわからない

東日本大震災を受けて「選挙活動を自粛しよ
う」という動きがありますが、選挙をやると決
めた以上、有権者に政策や考えを示すために街
頭からの訴えなどの選挙活動をするのは、当然
のことです。

日本共産党は、できるだけ多くの場所で街頭
からの訴えをしながら選挙戦を行っています。
「自粛」を主張する人達は、名前の連呼しかし
ないから「自粛」するのでしょいか。



チェックポイント3

市民にきちんと 議会報告する人か

「議員が何をしているのかよくわからない」と
いう声をよく聞きます。市長の提案した議案に
どんな態度をとったのか、市民の声をどれだけ
届けてくれたのかは議員を選ぶ大切なものさし
です。

共産党議員団は、議会での議論などを鈴鹿民
報でお知らせするとともに、2人の議員がそれ
ぞれニュースを発行し、みなさんにお知らせし
てきました。

議員を減らしても 市政は良くなるらない



「議員定数削減」に、共産党は反対で
す。市民の皆さんが議会に不満をもつ原
因は「定数32」にあるのではなく、市民
の声をしっかりと届ける議員が少ないから
ではないでしょうか。共産党は、議員の
「質」を上げることこそが、市政を良く
する道だと考えます。そのためにも、皆
さんの声をどんどん議員にお寄せ下さい。



市民の声を届け、

しっかり

市政をチェックします

日本共産党市議団 2 議席の力で



日本共産党



市民の暮らし、福祉を守り 災害に強いまちづくりを

東日本大震災・福島原発事故

市防災計画の見直しを

東日本大震災を受けて「今、東海・東南海地震が起きたら鈴鹿は大丈夫だろうか？」—こんな声が多く聞かれます。

見直し、M9・震度7に対応した計画に改めさせるとともに、住宅耐震補強をもっと利用しやすい制度に改善させます。

日本共産党は、市の防災計画を

高く払えない国保税を 1人1万円引き下げます

昨年、10%も増税され、4人家族・年収300万円で年間35万円はあまりに高すぎます。日本共産

党は、一般会計から5億円の繰り入れを行い、市民の負担を減らします。

子どもの医療費無料化を 中学校卒業までに広げます

義務教育の間だけでも医療費の心配なくお医者さんにかかれるようにしたいものです。

日本共産党は、中学校卒業まで医療費無料化を広げるとともに「窓口無料」を実現させます。

住宅リフォームへの 助成制度をつくらします

全国200近い自治体で地元業者の「仕事起こし」と地域経済の活性化のために、住宅リフォームへの助成制度がつけられ、大きな効果をあげています。屋根から畳、壁や窓などあらゆる工事を対象にして、上限20万円

の助成で使った予算の10倍以上の経済波及効果をもたらしている自治体も多くあります。日本共産党は、鈴鹿市でもこの住宅リフォームへの助成制度を実現させます。

大合併をやめさせ、鈴鹿市を守りました。

上水道への長良川導水計画を

ストップさせました。



日本共産党

あなたの願いを

6期
24年

男性ベネテラン議員に



日本共産党鈴鹿市委員会の政策と見解を紹介します

すずか民報

2011年4月号外

発行責任者：辻井良和TEL 386-0529